

2022年度（令和4年度）広島市立大学卒業式学長告辞

学部卒業生、大学院修了生、博士号取得の皆さん、本日はご卒業、ご修了、学位取得、まことにめでとうございます。これまで卒業生・修了生を支えてこられましたご家族の皆様にも大学を代表してお慶びを申し上げます。

本日の卒業式を迎え、本学に入学してからきょうまでの出来事を思い返す卒業生も多いと思います。皆さんが本学に入学してから、社会ではいろいろな出来事がありました。学部卒業生の多くが入学した2019年4月以降においても、社会の大きな出来事としては、まず、2019年5月1日、元号が平成から令和に変わりました。そして、2019年の年末からは新型コロナウイルス感染症のパンデミックです。この3年間、世界は新型コロナによって大きな影響を受けました。そうした中、2020年夏に開催が予定されていた東京オリンピック開催は2021年夏に延期開催となりました。さらに、ほぼ1年前の2022年2月末にはロシアによるウクライナ侵攻が発生し、今なお、戦争の惨禍は続いており、収束の見通しもまったく立っていません。もちろん、この4年間、明るいニュースもありました。直近のニュースとしては、昨日、プロ野球の侍ジャパンがWBCで見事、優勝しました。

さて、本日、大学を飛び立っていく皆さんの行く手に控えている世界はどんな世界でしょう。コロナ禍はまだ完全には収まっておらず、また、ロシアによる侵攻はまったく状況が見通せず、この世界に確実なものは何もないように思えます。一方、AIすなわち人工知能の進歩は目覚ましく、例えば、最近、世界中で注目を集めているAIツールChatGPTを使えば、人間が作成したものと判別できないような文章をコンピュータが作成できます。芸術作品の制作も例外ではなく、例えば、「ピカソ風に私の自画像を描いて」と命じれば、それらしい絵画が生成されるようになりました。

世界の不確実性、複雑性がますます増すと共に、コンピュータ技術の進歩は

激しく、AIの進歩によって、かつては人間しかできないとされていた領域までコンピュータ化、自動化が進み、これからも世界は目まぐるしく変化・変遷していくと予測されています。インターネットには情報があふれ、しかも流れている情報の正しさを確認することも著しく困難です。こうした世界に卒業・修了後に入っていくことに不安を感じる卒業生も多いと思います。

私も皆さんがそうした不安を持つことはよく理解できます。しかしながら、大変、残念なことに、私はこうした世界に立ち向かうための万能の処方箋を知っているわけではありません。それでも、皆さんよりは多少は長く生きてきた自分の経験から、私から皆さんに3つのアドバイスを贈りたいと思います。

1つ目は、「自分が判断する覚悟を持つ」ということです。世の中には、ウクライナ戦争への賛否からマスク着用の是非まで、いろいろな判断を求められます。そうした場合において、特に日本の社会においては、まわりの人に自分の判断を委ねて、自分では判断しない人が多いと思います。しかしながら、自分では何も考えずに人に合わせることは、究極的には自分の人生を人の判断に委ねることになります。中島みゆきが作詞・作曲した「宙船(そらぶね)」という歌があります。その歌詞に「お前が消えて喜ぶ者に お前のオールをまかせるな」とあります。自分という船は自分で漕がなければいけません。

2つ目は、「学び続ける」ということです。皆さんが本学で学んだ知識や技能は、大変、残念ながら、いつかは陳腐化する可能性が高いと言わざるを得ません。本学で学んだことに限りがあることも確かです。この事実を克服し、絶えまなく変化する世界の中でより良く生き延びていくためには、「学び」を続けることが重要です。大学で学んだ知識・技能は陳腐化するかもしれませんが、大学で皆さんが身に付けた「学びの方法」はきっと皆さんの「学び」を助けてくれます。20世紀のアメリカの自動車王ヘンリー・フォードも次のように言っています。「20歳であろうが80歳であろうが、学ぶことを止めてしまった人は年老いる。学び続ける人はいつまでも若い。」

3つ目のアドバイスは、「人とのつながりを大切にする」ということです。自分自身で物事を判断し、学び続けることは重要ですが、それだけで人生を豊かにすることは難しいでしょう。古代ギリシャの哲学者アリストテレスは「人間は社会的動物である」と言いました。この意味は、人間は社会において生きているのであって、社会なくして人間は存在しない、ということです。他人との関わりの中で人は成長します。人とのつながりについては、近年、広まっているSNSを否定するものではありませんが、生身の人間同士の触れ合いを深めていく中でこそ、より豊かな人生が見えてくると私は強く思います。

以上が現在の複雑・不確実な世界に旅立つ皆さんへの私なりの処方箋です。少しでも皆さんのこれからの人生に役立てば幸いです。

最後になりましたが、この3年間、皆さんの学生生活は新型コロナウイルスで大きな影響を受けながらも、ご家族、友人からの多くの支援と励ましを受けて、きょうの日を迎えたことと思います。コロナ禍の様々な困難にも関わらず、勉学と研究に励み、本日、卒業、修了を迎えられた皆さんとご家族、関係者の皆様に、最大限の敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の流行もやっと収束が見通せるようになり、本日、この卒業式も例年に近い形で開催できることとなりました。ご家族、友人、そして大学教職員と共に、卒業生の皆さんの卒業・修了と、新たな門出を心から祝福します。皆さんのこれからの健康と幸運、ご活躍を心より祈ります。

本日は、ご卒業、ご修了、学位取得、まことにおめでとうございませう。

2023年（令和5年）3月23日
公立大学法人広島市立大学 理事長・学長 若林 真一